

## 創立記念祭式辞

本日、第五十四回創立記念祭に、衆議院議員の葉梨康弘様、県会議員の萩原勇様、竜ヶ崎市長の中山一生様をはじめ多数のご来賓方々、並びに愛国学園理事長の織田奈美様をはじめ、学園本部の先生方のご臨席を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。また、保護者の皆様にも多数ご来場いただき深く感謝します。

雨の心配もあり、祝賀式は体育館で行うことになりましたが、式後のプログラムはグラウンドで行います。さて、本日ここに創立記念祭が開催できるまでには、保護者の方々の協力による清掃活動や生徒一人一人の大きな働きがあつたことをともうれしく思っております。

今日の創立記念祭は本校の誕生を記念する日です。誕生日というのは、本人にとっては一年の中で最も大切な一日であり、それをお祝いするのは当たり前ですが、私は、同時に、誕生日は、その人に命を与えてくれた両親に感謝する日だと思っております。ですから、今日は、本校にとつて創立者の織田小三郎先生と淑子先生のお二人に感謝する日でもあります。

愛国学園は今年八十周年を迎えます。そして、この龍ヶ崎校は五十四年目を迎えます。

私は校長として、創立の原点に立ち返るとともに、その歴史と伝統を引き継ぎながら、新しい未来を創っていく覚悟です。

さて、学園の伝統行事である創立記念祭の王役は生徒の皆さんです。私が皆さんに言い続けている「いつでも誰でも主人公」を見せる

絶好のチャンスです。私たち教職員は常に脇役であり、来賓の方々や保護者の方々はお客様であり、皆さんの応援団でもあります。

そして、今回は、龍ヶ崎市内の小学生 中学生が招待校リレーというプログラムに参加します。これは保護者の献身的なご協力があつてはじめて可能になった新しいプログラムです。そういう記念祭を通して皆さんの気持ちが一つになり、皆さんの心の中にそれぞれの達成感が持てるように頑張ってください。

昨年の記念祭には、前理事長の三浦亮一先生と副理事長の玉恵先生がおいでくださり、プログラムの最後までご覧くださり、そのとき、空徒の笑顔がとてもよかった」とお褒めのお言葉をいただきました。そのことを私は鮮明に覚えています。

今年の記念祭も明るい笑顔と仲間との団結力によつて一人一人の心の中に良い思い出が残る記念祭にしていきましょう。そうなることを願つて私はみなさんを応援し続けます。

以上で、校長の式辞とします。